

NPO☆Kyoken通信



梅雨号

☆特定非営利活動法人教育研究所(問題行動研究会事務局)94号 平成21年6月5日発行

〒233-0013横浜市港南区丸山台2-26-20 TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742

URL: <http://kyoken.org/>

E-mail: contact@kyoken.org

新緑の季節もあっという間に終わり、梅雨の季節を向かえました。6か月コースが始まって2か月が経過し、6月中旬より本格的にゴルフクラブの組立が始まります。自立塾のホールを組立工房にして、1階の8畳間3部屋を大広間にして、完成品と部品の倉庫にしました。塾生とOBのほとんどがAHEビルに引越しをしました。自立塾の2階は以前と同じように塾生の部屋とパソコンルームがあります。現在、塾生11名、OB11名の22名＋スタッフの大世帯で暮らしています。

ゴルフだけでなく、割き織りの準備も始まるし、夏の高校卒業認定試験向けの受験勉強も始まります。ニート、ひきこもりの人もこれだけ不景気になると、正社員どころか、アルバイトもなくなりつつある雇用情勢になってきました。いつでも働き口はあると思いき、ひきこもり生活をしていた若者も、ようやく長い冬眠から目を覚ました人もいます。

現実逃避しても、現実は何も変わらないどころか、ますます厳しいものになっていくことを、自分の中に受け入れて動き出す勇気が必要です。赤字が増加している国の予算を見ていると、若者の支援事業はいつ切られてもおかしくない状況にあります。国の支援の輪があるうちに動きましょう。

日本サムスンの社会貢献事業、聴導犬を育て、若者の自立を同時に支援する日本補助犬協会の「あすなろ学校」は民間施設です。その事業の若者自立支援を担当していると、厚生労働省依頼の若者自立塾は、行政が連携して動いてくれるので、何と恵まれているのかと、つくづく思います。

梅雨の時期は食中毒の季節、食事には気を付けて過ごして行きたいと考えています。

Kyoken通信ヘッドライン

- ◎ 第19回問題行動研修会のお知らせ
- ◎ 宇奈月日より「若者自立塾で何が変化したのか、若者に聞くQ&A」…牟田光生
- ◎ 平成20年度高校作文コンクール 文部科学大臣奨励賞受賞作品「心の涙(1)」
—教育研究所OG武藤夏美…中学時代のいじめ不登校をテーマにした作品です—
- ◎ 変わる不登校の子ども達(下)「教育新聞社の連載から」…久玉 和昭
- ◎ 不登校の子の寮 三ッ沢三愛センターと教研「書き下ろし新連載4」…牟田武生
- ◎ 講演会&グループカウンセリングのお知らせ

◎ 第19回問題行動研修会のご案内

問題行動研修会はNPO教育研究所の主催で行われます。教師&専門家のための問題行動研修会となっておりますが、保護者の方が参加することもできます。最新の研究や様々な問題行動の対応方法を学ぶことが出来ます。是非、ご参加ください。詳しくは同封のパンフレットをご覧ください。

◎ 宇奈月だより「若者自立塾で何が変化したのか、若者に聞くQ&A」

宇奈月若者自立塾寮長 牟田光生

現在宇奈月自立塾では総勢22名の塾生が生活しています。
そのうち、半数は自立塾3ヶ月の訓練を終了した卒塾生です。
今回はそんな卒塾生にスポットを当てて、塾に来て何が変わったのか、又、塾で生活をしながら働いている理由を聞いてみました！

30代男性 M君

- ◎ 寮長 自立塾に来る前の生活はどうでしたか？
- ◎ M君 昼夜逆転とかはしていませんでした。(時々、そういう人がいますが、珍しいケースです) 早寝早起きで、図書館通いをしたりしていました。本を読むのが好きなので。
- ◎ 寮長 親には何か言われなかった？
- ◎ M君 無理に「働け！」とは言われませんでした。ポチポチで良いと、そんな感じですかね。
- ◎ 寮長 自分の中で葛藤(働かなくては…とか、このままでは駄目だ!とか)はあった？
- ◎ M君 う〜ん…ありましたけど、働き方がわからなかった。
ハロワって敷居が高い感じがした(よくわからん所に行くのは嫌だった)ので行かなかった。…初めての場所って妙に緊張するので。
- ◎ 寮長 塾に来てどうでした？
- ◎ M君 面接の時は緊張しましたが、生活は特には苦労しませんでした(一人暮らし経験が有るのと、昼夜逆転していなかった為)
- ◎ 寮長 自分の中で卒業後は何か変わった？
- ◎ M君 働こうと言う意欲がかなり増しました。塾で仲間と言うか、話し相手や遊び相手が出来たので、色々と行動範囲や楽しみは増えたと思います、「仕事しなければ…」という雰囲気も仲間から得られたかな。
- ◎ 寮長 家から職場に通っていた事もあったよね、塾と家の違いってどんな所かな？
- ◎ M君 う〜ん、今なら余り変わりはないのかもしれないけど、仕事内容が塾の近くの方が(塾が紹介した仕事)合っている。
塾に居ると話し相手も多いし、ストレスを受ける事もあるけど、遊びにいける仲間が居るし。
たまに家に帰るけど、たまに位の方が丁度いいのかもしれない。

20代女性 Lさん

- ◎ 寮長 自立塾に来る前の生活はどうでしたか？
- ◎ Lさん 昼近くに起きて、夜は9時前後位に寝ていました。起きていると将来や未来に対しての不安があって苦しかったから、ほとんど外出とかしませんでした。薬の影響かもしれませんが、本当に寝てばかりの生活でした。

- ◎ 寮長 親には何か言われなかった？
- ◎ Lさん 特に何も言われなかった。…気がします。あまり覚えていないのです。
- ◎ 寮長 自分の中で葛藤（働かなくては…とか、このままでは駄目だ！とか）はあった？
- ◎ Lさん 将来の不安もあったし、未来への不安ももの凄く強かった…苦しかったです。それでお薬を飲んでいたので、非常に眠かったしだるかったし、頭がぼーっとしていた感じがします。
- ◎ 寮長 何で自立塾に来たの？
- ◎ Lさん 自分をなんとか変えたいと思った…非常に苦しかったけど。
- ◎ 寮長 塾に来てどうでした？
- ◎ Lさん 最初は体が生活に付いていくのが一杯一杯でしんどかったです。慣れてきてからは先の事を考える余裕が出てきた。不安よりも少しずつ希望が出てきた。（同じ年で塾に来て働いている女の子が居たので、自分も頑張らねばと思った。年上の人との交流もあり、そういった人間関係ができたのが良かった）そういった感じで周りが少しずつ見えるようになって来たのかなあ。
- ◎ 寮長 自分の中で卒業後は何か変わった？
- ◎ Lさん 苦しみが少なくなりました。
- ◎ 悩みの質が変わったかな？内面的な悩みから、仕事の悩みや人間関係とか外的な悩みが変わって来た。良い意味で、ですけどね。
それと神経症的症状がかなり弱まりました。自分に自信が付いてきたからかな？
今も多少はありますが、学生時代に比べコントロールできるようになりました。
摂食障害も今は完全に無くなりました。
体型維持にも本当によかったです。（極端に増えたり、減ったりが無くなった）
作文にして書いたらかなり長くなると思いますよ。
- ◎ 寮長 塾と家の違いってどんな所かな？
- ◎ Lさん 塾は自分が悩んでいるとき（仕事などでの失敗）話し相手が居るので、気が紛れる。
家は家で楽なんですけどね、でも塾では年代が近くて話しが出来る人が近くに居るのが良いですよ。

◎ 平成20年度高校作文コンクール文部科学大臣奨励賞受賞作品「心の涙（1）」

教育研究所OG 武藤夏美

東海大学付属望星高校放送コースの生徒会長になってから、私は色々な人の経験、過去の話を書くようになった。そこで、私はある結論に至ったのだ。

私が元々この学校に来たのは、自分で自由に学べるという魅力的な理由があったからだ。だが同時に、過去に友人達が「イジメ」というものを受けていたのに、教師はイジメが学校にあることを隠し、「学校」という組織の体裁を必死に守る教師に失望したのも一つの理由だろう。

私は当時いた学校の教師に失望したことで、他の学校に移り、真面目だった私はその学校の教師に反発した。反発するというのは、金に髪を染めたり、授業をボイコットする訳ではなかった。

私は当時教師を全く信じていなかった。教師とは単に仕事で、どこかの熱血ドラマのように親身には思ってくれないわけがない。自己保身に長けてるのが教師だと思っていたのだ。

だから私はナメていたのだろう。尊敬していなければ「先生」と呼ばなくても良いと思っていた。

完璧に、私は新しい学校に移ってから教師達の前で仮面をつけた。優等生という名前の下で、完璧に自分を偽り、欺いてきた。影では人を嘲ってきた私のそれを、当時の英語の担任が気づき、

「なつみちゃん、嘘をついてない？」とわざわざ職員室に呼ばれて言われた。

私は元々、その教師が苦手だった。人のことを勝手に下の名前で呼び、大きな目は「何でも見透かせるわよ」と言いたげだった。そもそも女性の教師は、過去の学校でもそうだったが男性教員よりも自分の感情で生徒の扱い方が違うのだ。

私は飽き飽きしていたが、笑顔の下に感情を隠した。

「いえ、私は嘘をつくのは苦手なんです。どうしてそう思われるんですか？」

と、なるべく丁寧な敬語で言った。私は一応最低限の教師への敬意として、学年でも一人だけ教師に敬語を使う貴重な存在になろうとしていた。

「無理に笑ってない？」質問攻めか、とイライラとしていたが、それも隠す。人の話を聞け、と悪態さえつけたかった。

「私がそんな無意味なことをする必要がありません」

苦笑したが、彼女の目を絶対見ない私は、今考えればわかりやすかったのだろう。

彼女の目を見れば、きっと嘘だとわかってしまう。メドゥーサの目を見て石になる、という訳ではないが私は彼女の目を恐がっていた。

「過去の経験もあるから」と先生が言った時、「は？」と私は顔を顰めた。そうだった。彼女は私が中学校を何故転校したかの理由を知っている。少なくとも、校長と担任は承知のことだった。はめられた、と舌打ちしたくなるほどの衝動にかられるほど不愉快になった。最初から知っている教師に、誘導尋問で本音を吐かせられそうになったのに、無性に苛立った。

「大人だって嘘をつくじゃないですか。嘘をつくのがいけないことですか？自分達は嘘をついて、子供にはつくな、というほど大人は傲慢なんですか？」と、私は急に態度を変えて冷ややかな態度で挑んだ。丁度良いことに、職員室には私と先生しかいなかったからだ。急に態度を変えた私に驚かと思ったが、先生はずっと優しげに微笑んでいた。それが余計に私の苛々を煽った。

「嘘ついたり、無理に笑ったりすると疲れるでしょう」

「大人は家にいる時と会社という時と、顔が違うでしょう。誰でも仮面を被るんです。心理学の言葉で、「ペルソナ」っていうんじゃないですか？子供は大人を真似します。私は先生方を見て、「ペルソナ」を被っているだけですよ」挑発するように言えば、彼女の顔色が変わるのではないかと思った。後先のことを考えて行動していた私が、後先を考えずに行動したのは久しぶりだった。

「大人が嫌いなんだ」

感心するように先生が言った時、私は首を傾げた。彼女は、自分のことを大人だと思っていないように、全く関係のない話題のように声を出したからだ。

「嫌いですね。汚いじゃないですか」

軽蔑するように言えば、彼女の目が余計に丸くなった。カメレオンみたいだ、と思いながら私が足を組むと、彼女は自分のことを指差した。

「私のことも、汚いって思うの？」…私は、ひくりと口の端を引き攣ったのを覚えている。苦笑さえ出なかった。嫌いだった数学の教師とこの会話をしていたならば、私はきっと「はい」と答えていただろう。

しかしそれが言えなかったのは、私が先生のことを汚いなどと思っていなかったからだ。

先生は、綺麗だった。容姿ではない。容姿はカメレオンとか、アラブ系の人に似ていると評判だった。心が綺麗だという意味では、私は否定できない。先生は生徒にも熱心に指導し、教科書の授業だけでなく過去に経験した恋愛、大学生活の話をしてくれたので、純粹に面白かった。

先生は教師と生徒という上下関係ではなく人間として対等に付き合い、そして私が間違っただけをした際には本気で叱り、私が他の先生から不平等に怒られている時には身を呈しても守ってくれたことによって、私はわかった。(つづく)

不登校の指導について、現場の先生方はどのように対応しているのだろうか。おそらく、相談、家庭訪問、進路指導など多種多様にわたっているに違いない。もちろんその子どもに対するチームカンファレンスも必要であろう。しかし、そのとき何を規準にして判断しているのだろうか。先生方の経験（主観）、知識を中心とした判断なのか、その子どもの心理的データなども含めた総合的な判断なのか、どうだろう。

不登校のタイプ変化が近年顕著に見られるという報告は前回述べた。不登校の態様が変われば当然対応方法も変わるはずである。現在の不登校の中核は、いわゆる「情緒混乱型」（人間関係においてひいてしまい、感情の変化が激しい）の不登校でなく、「オタク型タイプ」（人間関係はやはりひいてしまうが、感情は比較的安定している）の不登校に推移していると考えられる。もちろんこのほかにも「リーダー型」「平凡型」「遊び非行型」などのタイプが考えられるが、それぞれのタイプによって心理状況は異なり、従って対応方法も変化する。例えば「オタク型タイプ」の不登校はカウンセリング中心の受容的対応を行なうよりむしろケースワーク的な対応の方に効果がある場合が多く、逆に「情緒混乱型」の不登校にはカウンセリング中心の対応が適切な場合もある。この対応を逆に行なうと不登校状況の回復に差が生じてしまいひきこもりの長期化を招くケースがかなりある。子どもの状況に応じた適正な対応を行なうためには、スーパーバイザー、カウンセラー、教師、ケースワーカーなど各専門家が子どもを総合的に的確に判断し、適正な指導をしていくことが必要になっていく。

現在において、不登校の子どもを理解するには、心理学、医学、教育学以外に社会学、家庭病理の問題また現在の経済的な問題などさまざまな角度からのアプローチが必要になる。このように多岐にわたる問題を考えるときに、やはり判断指標となるものはあったほうが良いのではないだろうか。

心理検査によるタイプ判定は子どもの状態の一面のみを表すものであり、その結果で子どもの全ての評価が出来るものではない。ただ、科学的な判断材料にはなりうる。つまり普遍性を持つということである。それは先生方の経験、知識による判断を支援するものであればいいはずである。

不登校の問題は学齢期のみのものでなくその子の人生にわたる問題となるケースが多く見られる。現在の若者たちの「ひきこもり」「働こうとしない若者」などの社会問題はこの不登校という現象が『根っこ』にあるような感じがする。

—書き下ろし—

登校拒否文化医学研究所（主宰 高橋良臣氏）が運営していた「平須こどもの家」は、その後、手狭になり、平須地区にあった大須成小学校廃校を機に中富町から借り受け、高橋は「大須成学園」と名前を改名し、不登校の子ども達のために支援活動を続けた。現在も不登校の学校復帰をめざして活動を継続している。

その当時、長期化した不登校（注1）の子どもの場合、例え、学校に復学出来ても一斉事業で行われる学習についていけなかった。家と学校に戻るための中間施設として生活リズムや人間関係力、学習の遅れを取り戻す場が必要だった。平須こどもの家や大須成学園で約3週間程度生活し、生活リズムを取り戻した子らは横浜の三ッ沢にある「三愛センター」に移り、当時、横浜市磯子区洋光台に教育研究所に通学した。

教育研究所には三愛センターから来るものと自宅から通うものがいた。中学部と高校部（清水橋教室）があり、多い時には30名以上の不登校の子らが全国から来て、遅れている学校の勉強や大検（今の高卒認定試験）、通信制高校の学習、高校入試をめざし勉強やカウンセリングを受けていた。

25年経った、今から振り返ると、関わる先生方は非常に贅沢であった。メンバーはオールジャパンと言っても過言ではない。生活指導は登校拒否文化医学研究所高橋良臣先生。カウンセリングは日本大学薬学部助教授（現在は常盤大学教授）中里弘先生と石郷岡泰先生（新潟大学教授）。教育とケースワークや子ども達のカウンセリングは私が担当していた。

これだけのメンバーは今でも組めないと思っている。それは、不登校の子や家族の支援ということも第一義であったが、研究者にとっては、臨床研究の場でもあり、そこから生まれた不登校の子らの理解やカウンセリング方法、教育支援方法などは、現在の対応の基礎になっている。私にとってもこの活動と先生方との討議によって得られたものは今日に生かされ宝物になっている。

余談だが、その頃、私が吐いた名言（迷言？）「戸塚博氏はヨットと暴力による支配で、稲村博氏は薬によって（注2）、高橋良臣氏は生理リズムによって、私は教育と愛で、登校拒否を直そうとしている。どれが正しかったのか、20年後には、その結果が出ると思う」と講演会や教員の研修会で話した。

また、高橋らを中心にした私達4人が関わる親会も、規模が大きく全国にまたがっていた。親会の会員は東京約180名、横浜約80名、関西地区約100名、静岡浜松地区約40名の会員の方がいた。また、講演会やグループカウンセリング、セミナーなどは各地で4人の先生方で大変活発に行われていた。

親の理解やネットワークが活発になれば、なるほど、子どもの回復は早かった。その点、今の時代は、終着点のない精神科の医師による投薬と金銭目当ての若者の増産工場であるサポート校が巨大化し、親も孤立化し、講演会にも参加しなくなって来ている。その結果は長期のひきこもりの要因にもなっている。

三ツ沢三愛センターのあった谷間は、今、宅地開発が平成になって進められ、建物は撤去され、マンションが建っている。三愛センターで青春時代を生活し、巣立っていった子は100人を超えている。三愛は（3つの愛、助け合い、出会い、成長し合い）の言葉から来ている。登校拒否の子を温かく見守り育てることが主眼に置かれ、子ども達にとっては理想の成長の場の1つであった。（つづく）

（注1） その当時は登校拒否という言葉が使われていた。

（注2） 稲村博 故人 社団法人 東大医学部卒 「青少年健康センターを」設立 「思春期挫折症候群」など著書多数 登校拒否問題研究の草分けのひとり



NEWSその1、 牟田先生は順調に回復されつつあります。本人は体力的には以前に比べ、「60%程度だが」と、おっしゃっていますが、ほぼ100%の仕事をこなしています。

NEWSその2、 5月15日（金）牟田先生は足立区の公園にたむろする子ども達を追い払うために、子どもしか聞こえない高周波の発生する装置を区が設置することに対して意見のコメントをNHKニュース9で出しました。

NEWSその3、 宇奈月若者自立塾で6ヶ月コースが始まり、ゴルフ工房がスタートしました。また、うなづき若者自立塾の活動内容を連載した『NPO通信』北陸中日新聞1～10の連載が終わりました。読みたい方はHPをご覧ください

◎ 講演会のお知らせ (6月から8月予定)

6月7日(日) 1時から5時まで	富山	富山県民会館 613号室
7月4日(土) 1時から5時まで	横浜	ウイリング横浜 126号室
7月5日(日) 1時から5時まで	富山	富山県民会館
8月2日(日) 1時から5時まで	富山	黒部市民会館

◎ グループカウンセリングのお知らせ

宇奈月、横浜でそれぞれグループカウンセリングを実施します。
 グループカウンセリングは、7名前後の参加者とカウンセラーが行なう小集団のカウンセリングです。
 宇奈月、横浜とも牟田先生のグループカウンセリングです。今回は三回シリーズになります。
 日程、参加申し込みは下記の通りです。

◎ 日程

・富山宇奈月 (AHE ビルカウンセリングルーム)

一回目	二回目	三回目
6月7日(日曜)	7月5日(日曜)	8月2日(日曜)

※ 時間はいずれも午前9:30~11:30です
 ・横浜(教育研究所丸山台事務所カウンセリングルーム)

一回目	二回目	三回目
6月11日(木曜)	7月9日(木曜)	9月3日(木曜)

※ 時間はいずれも午後2:00~4:00です
 ※ 都合により日程など変更する場合がありますのでご了承下さい

—グループカウンセリング申込書— 参加希望の方はFaxまたはメールでお申込み下さい

参加者氏名	
住所	〒
TEL	
Email	

※ グループカウンセリング費用 ¥9,000 (¥3,000×3回) 会員のかたは特典があります

NPO法人教育研究所の会員の申し込みについてのご連絡

従来、会員の皆様には会費を年会費として一律5,000円お支払いいただいておりますが、平成21年1月から、1口5,000円としてお申し込みをいただきたく存じます。

昨年度の牟田先生の緊急入院に関しまして、皆様方の温かいご支援をいただき、教育研究所も何とか再建の方向で動き出すことが出来ました。牟田先生も少しずつ現場に復帰出来るまで回復し、カウンセリング、講演などの活動を始めました。

ただ、教育研究所の運営はまだまだ不安定な状況であり、運営の母体となる年会費を皆様にご協力していただけるよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

会員の特典も新しく追加しておりますのでご検討いただければ幸いです。

- 会員の有効期間はお支払いいただいた時から、1年間の有効期間となります。
- 今年から新しく1口以上の会員の募集も行います。
 - ※ 1口¥5,000 (1口増えるごとに¥5,000加算されます)
 - ※ 銀行ご利用の場合は下記の口座にお支払いください。その場合は、必ずご自身のお名前を入れてください。よろしくお願い致します。

新しく会員の申込をされる方は、下記の申込書でご連絡ください。

会費納入口座は 北陸銀行 宇奈月支店 (ホクリクギンコウ ウナツキシテン)
 名義 特定非営利活動法人教育研究所 (普) 5014010
 郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人教育研究所

会員の方には、

- カウンセリング料の割引 1万5千円→1万円
- 年5回程度の定期通信の発行
- 講演会などのイベントのお知らせ
- お母さんたちのミニ図書館の利用
 - ・ 新特典
- グループカウンセリングの割引(1口につき1回無料)
 - ※ グループカウンセリングは年3回、横浜・宇奈月で実施します。
- 教育研究所温泉宿泊施設 (AEHビル) をご家族で利用できます。
 - ※ 1口につき二名まで一泊無料 (朝食含む) となります。(ただし、4月から11月まで)

.....

新規入会申込書 (新しく会員になる方は郵送かFAXまたはメールでご連絡ください)

(郵便振替でお申込みいただく方は必要ありません)

入会者氏名	
住所	〒

郵送先 〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20 Fax 045-848-3742

2009年「特定非営利活動法人教育研究所うなづきの活動案内」

・ **若者自立塾**・・・3ヶ月の共同生活の中で、生活リズムの改善、人間関係のスキルを向上させ、ビジネスマナーを身に付け、様々な就労体験を通して、働く意欲を身に付け、自立することを目指します。当塾は、日本有数の設備、就労体験の豊富さ、温泉設備、ニューオータニホテルで12年間のシェフの経験がある専門料理人、有数の正社員雇用率、修了後の様々なフォローなど充実しております。

個人負担分（寮費）3ヶ月間で200,000円～300,000円、訓練費は国の負担（3ヶ月間270,000円）になります。年間世帯収入が400万以下の低所得の方は個人負担分3ヶ月間で150,000円～200,000円になります。（ご相談下さい） **【定員 20名】**

※ 2009年4月より、6か月コースも始まります。

・ **宿泊型フリースクール**・・・20年を越す通所施設の実績を基に民間施設「教育研究所」が生まれ変わります。今の不登校のタイプは通所型では長引くばかりで効果が上がりません。不登校への対応の基本は、不登校が長期間になると、本人の人生にその後、マイナスの影響を及ぼすために、なるべく短期間に再び不登校・ひきこもりにならないための対応が必要です。最近多い親子の共依存関係から離れ、自立することを目指します。

3ヶ月コース、6ヶ月コース、1年コース、高卒検取得コース、富山の県立・私立高校通学コース、地元中学転校コース、留学コース（カナダ、台湾、タイ、韓国など）、

子ども一人ひとり応じたコースを用意します。

費用、寮費、教育費、カウンセリングなど、月150,000円。（ケースワーク費用・留学費用は別途になります）

【定員 中学生6名、高校生年限の者10名】

・ **ネット依存**・・・ネット依存に陥ってしまった若者に現実社会の豊かさを学び、ネットに対して自己規制出来るようになるためには、共同生活の効果が非常に高いということが分かってきました。ネット依存の日本初めての本格的な治療コースです。プログラムは治療から学校及び社会復帰まで含まれています。状態に応じて3ヶ月コースと6ヶ月コースがあります。

費用、寮費、教育費、カウンセリング。月150,000円（ケースワーク費用は別途になります）

【定員 10名】

・ **短期体験合宿**・・・5泊6日の体験コースです。基本的には各コースの入塾のための体験合宿です。（年4回程度）35,000円、 **【定員 6名】**

※ 厚生労働省の入塾体験費用が適応できます。（詳しくは事務局にお問い合わせください）

・ **自立塾OBのフォローワーク**

コース	内容	寮費（1ヶ月）
A	カウンセリング&ケースワーク+生活指導+就労体験+就職支援（全てを含むケア）	145,000円
B	就職活動&アルバイトの世話、ケースワークなど	100,000円
C	寮からの正規就労（3食付き）	70,000円

※ 寮費の中には、食事代、寮費を含みます。（Dコースは食事代別です）

その他アルバイト&就労している方には布団使用料月1,000円、駐車料月1,000円（別途）が掛かります。短期体験合宿以外の上記希望者は随時受付をしています。（但し、事前面接が必要です）

※ 各コースとも定員になり次第締切ります

- ・ **保護者のための研修会** (1泊2日) とグループカウンセリング (日帰り)

子どもや若者への対応や親としてやらなければいけないこと、子どもの再登校、社会復帰のためにしなければならぬことを集中的に学びます。(年3回程度) 18,000円

若者自立塾以外は合宿所として富山県黒部市宇奈月温泉「NPO教育研究所AHEビル」を使用。

◎ 教育研究所伝言板

- ・ 牟田先生のカウンセリング・・・随時予約受付を現在行なっております。(横浜事務所)
富山では宇奈月滞在中に行なっています。(要予約)
 - ・ 牟田先生の講演・・・・・・・・・・2月より始まりました。
 - ・ 牟田先生のグループカウンセリング・・・横浜・宇奈月とも6月より二期目を再開いたします。
 - ・ 牟田先生のケースワーク・・・・・・・・4月より再開しています。
- いずれも体調を見ながらの再開になります。急に変更が起きる場合もありますから、ご承知置き下さい

◎ 継続して寄附を求めています

専用寄附口座 横浜銀行 上永谷支店 店番号 323 口座番号 1442822

名義人 特定非営利活動法人 教育研究所 (寄付) 理事長 牟田 武生

ソフトボールや軟式野球で使うグローブやバットで使わなくなったものが、ございましたら、ご寄附ください。(送料は負担します)

ボランティア募集中

教科指導の補助出来る方 (英語・数学・国語)

カウンセリングやケースワークの臨床をしたい方。

時間講師募集中、高卒検程度の教科指導できる方。

技術をお持ちの方で、定年退職され、その技術を若者に伝え、若者の自立支援に役立ちたい方

NPO法人教育研究所第6回総会のお知らせ

6月13日(土)に第6回NPO法人教育研究所総会を開催いたします

詳しくは同封の総会のお知らせをご覧ください

TBSテレビ サムスンスペシャル『伝えたい、大きなチカラ』(仮)～あすなろ学校の物語～

主演 鶴田真由 放送時間 2009年7月20日(祝) 9:55～10:50 (TBS)

7月25日(土) 19:30～20:25 (BS-TBS)

NPO教育研究所が若者自立支援を行っている学校です。牟田先生のモデルの南先生が活躍します。是非、ご覧ください。

☆お母さんたちの交流会のお知らせ☆

「毎月5～6人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。」（卒業生の母より）

- ・同時に親の会ミニ図書館を開催。
 - ・会員の方ならどなたでも利用可。
 - ・不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が300冊以上あります。ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。
- 毎月第4土曜日午後1時から4時頃まで
NPO教育研究所横浜事務所にて
参加希望者は教育研究所までお願いします。



親会だより

支援の会への申し込みについて

教研通信（早春号）でお知らせ致しました、教研の運営費の一部を支援していくための申込書と郵便振替依頼書を同封させていただきます。

一口1,000円から、毎月郵便貯金の口座から引き落としさせていただきます。

支援の額が多いほど助かりますが、何口でも構いませんので、自分たちの出来る範囲で無理のない支援をと思っております。

申し込んで頂いた額を毎月引き落としさせていただきますので、宜しくお願い致します。

先日、夏の研修会の発送をお手伝いに行きましたら、牟田先生がお仕事をしている姿を拝見して、ホッと致しました。

今年の夏の研修会では先生がお元気で講演されていらっしゃるのをお聞きしたいですね。

先生にとって、皆様の暖かいご支援や励ましの言葉が仕事をする支えになっているのかなと思ひながら発送のお手伝いをしておりました。

支援の輪が広がることを心から願っております。

手続きのほど宜しくお願い致します。

支援の会一同

- ※ ご賛同いただけるかたはお手数ですが、同封の「自動払込利用申込書」にご記入の上（見本を参照してください）NPO法人教育研究所までご送付ください（大変申し訳ありませんが郵送料はご負担いただけるようお願いいたします。）
- ※ 月々の引き落としの金額を申し込み用紙備考欄にご記入ください（ご記入ない場合は「1,000円」とさせていただきます）お支払は9月10日から毎月10日のお支払になります。
- ※ 支払の変更などお問い合わせはNPO法人教育研究所までご連絡ください。

※ 平成 21 年 6 月から 8 月スケジュール

6 月	7 日 (日)	富山グループカウンセリング (第一回) 講演会	宇奈月 AHE ビル 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
	8 日 (月) ～10 日 (水)	研修会発送作業	教育研究所丸山台事務所
	11 日 (木)	横浜グループカウンセリング (第一回)	教育研究所丸山台事務所 午後 2 時から 4 時
	13 日 (土)	第 6 回 NPO 教育研究所総会	教育研究所丸山台事務所
7 月	4 日 (土)	横浜講演会	ウイリング横浜
	5 日 (日)	富山グループカウンセリング (第二回) 講演会	宇奈月 AHE ビル 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
	9 日 (木)	横浜グループカウンセリング (第二回)	教育研究所丸山台事務所 午後 2 時から 4 時
	30 日 (木) ～31 日 (金)	研修会埼玉会場	国立女性教育会館 (埼玉嵐山)
8 月	2 日 (日)	富山グループカウンセリング (第三回) 講演会	宇奈月 AHE ビル 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
	24 日 (月) から 28 日 (金)	研修会東京会場	国立オリンピック記念青少年センター
	9 月 2 日 (木)	横浜グループカウンセリング (第三回)	教育研究所丸山台事務所 午後 2 時から 4 時

編集後記

講演会を再開し、半年が経過した。最初は参加者が大変少なくなり、また、ゼロからやり直しと思っていたが、会を重ねるごとに参加者も徐々に増え始めた。「継続はまさしく力なり」である。どんなに参加者が少なくなっても、講演会場費が出ずに赤字になっても、不登校、ひきこもり、ニートの子や若者とその家族のために講演活動を続けていこうと思っている。今年からは教育研究所のOBで、大学の相談室やスクールカウンセラーの臨床心理士の大場先生も応援してくれることになった。ありがたいことである。

昨年度の決算を終えたが、法人団体としては、大幅な赤字を計上してしまった。これで、もし、約900万円もの皆様方の寄付がなければ、教研30余年の活動に終止符を打たなければならなかった。継続出来たのは皆様方の温かい支援と理解の賜物だ。健康に留意し、子どもや若者の支援をライフワークにしていきます。心からのご寄付、本当にありがとうございました。

最近、また、ネットゲーム依存が急増している。しかも、小、中学生へ低年齢化が始まっている。禁止したり、制限を加えると、家庭内暴力もエスカレートしてきている。市場競争に勝ち残るために、ゲーム会社は依存度が強いゲームソフトを配信し始めている。ゲーム会社に自主規制について尋ねると、ユーザー側の「自己責任」という答えが返ってくる。小泉元首相の自己責任発言から日本もアメリカ型社会に変わってしまった。はたして、小、中学生に自己責任が取れるのか、アメリカの大手金融会社しろ、大手自動車会社にしろ、自己責任が果たせないくせに、個人にだけ責任を取らせる議論はとこか間違っている気がする。(ム)